

篠原猛史 Biotope Shelter ビオトープの場 展

(1) 趣 旨

自然や環境をテーマとした版画やドローイング、立体作品に至るまで、多彩な創作活動を国内外で展開しているアーティスト・篠原猛史を紹介しました。人間を含むすべての生き物が互いのバランスを守りながら安定して生息できる「ビオトープ」をテーマとして、自然の内に営む人の在り方や、すべてとともに生きてゆく意味を思いやるきっかけとなったことと思います。



(2) 会 期 2006(平成 18)年 9 月 16 日(土)～10 月 22 日(日)<31 日間>

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室

(5) 関連事業

①篠原猛史 公開制作

文化の森のアトリエに滞在し、森の中にシェルターを 3 つ制作しました。制作にはアートボランティアを中心とする市民や文化の森に来た子どもたち、一般の来館者 50 名が参加しました。

《2006(平成 18)年 9 月 3 日(日)～24 日(日)期間中随時／会場：ひのき広場》

②パフォーマンス「Bless : Minokamo」

展覧会初日の夜、ドローイングのパフォーマンスを開催しました。制作に向かう作家の息づかいを感じながら、その行為を追体験する貴重なひとときとなりました。

《2006(平成 18)年 9 月 16 日(土)19 : 00～20 : 00／会場：芝生広場／参加料：無料》

③アートな 1 日講座「ウインド・ドローイング」

自然の中で集めたものを空に投げ上げる篠原氏のパフォーマンスを追体験するワークショップを開催しました。空にそれぞれの絵が描かれる瞬間を、皆で共有できる喜びを楽しみました。

《2006(平成 18)年 9 月 24 日(日)13 : 00～16 : 00／会場：芝生広場・文化の森周辺／参加料：無料》

④アーティストトーク「循環と波動」

作家が作品について、自らの制作活動について語りました。

《2006(平成 18)年 10 月 22 日(日)13 : 30～14 : 30／会場：企画展示室・美術工芸展示室／

参加料：無料》